

2007 ITUトライアスロンコンチネンタルカップ七ヶ浜大会
NTTトライアスロンジャパンカップ第5戦

大会レポート

2007 ITU Triathlon Continental Cup Shichigahama
2007 NTT Triathlon Japan Cup, 5nd Stage



2007.07.01

JAPAN TRIATHLON UNION.

www.jtu.or.jp

大会概要

大会名称 第13回みやぎ国際トライアスロン七ヶ浜大会
大会指定 2007ITUトライアスロンコンチネンタルカップ七ヶ浜大会
NTTトライアスロンジャパンカップランキングイベント
日韓親善大会
東北トライアスロンサーキット戦第6戦
東北学生トライアスロン選手権大会
関東学生トライアスロン選手権大会
宮城県トライアスロン選手権大会(強化指定選手選考大会)
宮城県民体育大会

日程 2007年7月1日(日)
●エイジ部門(個人・リレー)スタート 8時15分
●エリート部門男子スタート 11時00分
●エリート部門女子スタート 12時10分

会場 宮城県宮城郡七ヶ浜町

主催 宮城県七ヶ浜町
社団法人日本トライアスロン連合(JTU)

主管 宮城県トライアスロン協会(MTA)
第13回みやぎ国際トライアスロン七ヶ浜大会実行委員会

特別後援 日刊スポーツ新聞社

後援 宮城県、宮城県スポーツ振興財団、宮城県体育協会、塩釜医師会、七ヶ浜町議会、七ヶ浜町体育協会、塩釜青年会議所、河北新報、朝日新聞仙台総局、読売新聞東北総局、毎日新聞仙台支局、産経新聞社東北総局、産経スポーツ新聞仙台支局、スポーツニッポン新聞社仙台支局、NHK仙台放送局、KHB東日本放送

協力 塩釜警察署 塩釜海上保安部 宮城県仙台港湾事務所 陸上自衛隊多賀城駐屯地 宮城交通(株) 宮城県タクシー協会 宮城県陸上競技協会 MPPW宮城県水難救助協議会 宮城県潜水協議会 宮城県ヨット連盟 宮城県カヌー協会 仙台サーフショップユニオン 宮城レスキューサポートバイクネットワーク 七ヶ浜町区長会 七ヶ浜町体育協会 七ヶ浜町交通指導隊 七ヶ浜町観光協会 七ヶ浜町漁業協同組合 七ヶ浜町公民分館長会 塩釜地区交通安全協会 七ヶ浜支部 七ヶ浜町旅館組合 七ヶ浜町婦人会 七ヶ浜ライオンズクラブ 七ヶ浜ロータリークラブ 日本学生トライアスロン連合(JUTU) JTU東北ブロック協議会

協賛 NTT東日本、NTT西日本、大塚製薬、デサント、AIU保険会社、日本スパトライアスロン実行委員会、JR東日本仙台支社、杏番屋、喜助、ひがしやま、アクアクララ東北、日本バナナ輸入組合、宮城トヨタ、新日本石油精製、山源工務店、東北造園 他

競技規則 社団法人日本トライアスロン連合競技規則および七ヶ浜大会特別規則(ローカルルール)を適用する。

競技距離 51.5km
スイム1.5km/バイク40.0km/ラン10km

競技種目 ●エリート ※ドラフティング許可
●個人(一般選手、学生選手) ※ドラフティング禁止
●リレー(2~3名で競技をする) ※ドラフティング禁止

制限時間 ●エリート部門男子 2時間30分
スイム25分(25分)、バイク75分(100分)、スイム50分(150分)
●エリート部門女子 2時間45分
スイム30分(30分)、バイク80分(110分)、スイム55分(165分)
●エイジ部門 4時間
スイム60分(60分)、バイク120分(180分)、スイム60分(240分)

表彰

●エリート部門	男・女 1~3位
●個人総合	1~3位(学生選手除く)
●リレー	1~3位(チーム表彰)
●個人年齢別男女	1~3位
●大学生選手権部門	男・女 1~3位
●東北トライアスロンサーキット戦	1~3位
●宮城県トライアスロン選手権(MTA強化指定選手)	男・女 1~3位



大会公式 スケジュール

6月30日(土) 大会前日

区分	時間	内容
エイジ部門	12:30~14:50	選手受付登録(バイク預託なし)
	13:00~13:30	競技説明会(1回目)
	14:00~14:30	競技説明会(英語)
	15:00~15:30	競技説明会(2回目)
エリート部門	12:30~15:50	選手登録受付(バイク預託なし)
	16:00~16:30	競技説明会
	16:30~17:00	記者会見
	17:00~17:30	記者説明会

7月1日(日) 大会当日

区分	時間	内容
エイジ部門	06:30~07:45	選手受付 ボディーナンバー書き込み
	08:00	スタートエリア選手集合
	08:15	スイムスタート
	~12:15	全競技終了
エリート部門 男子	09:50~10:30	選手受付
	10:45	スタートエリア選手集合
	11:00	スイムスタート
	13:30	全競技終了
エリート部門 女子	09:55~11:40	選手受付
	11:55	スタートエリア選手集合
	12:10	スイムスタート
	14:55	全競技終了
	14:30	表彰式、閉会式、抽選会

日韓親善大会

日韓親善大会に指定されている七ヶ浜大会。多くの韓国選手、スタッフが来日。

韓国役員・選手・スタッフ

	氏名	性別	役職	カテゴリー
1	Park, Jong Gong	男	Vice President of KTF	Official
2	Lee, Hee Dam	男	President of Local Federation	Official
3	Um, Byung Ho	男	President of Local Federation	Official
4	Kim, Chang Dong	男	EB member of KTF	Official
5	Jang, Hyun Sup	男	EB member of KTF	Official
6	Lee, Ju Youl	男	EB member of KTF	Official
7	Kim, In Gyu	男	Secretary General of KTF	Official
8	Ki, Woo Kyong	男	V.Secretary General of KTF	Official
9	An, Kyoung Hun	男	Director of Local Federation	Coach
10	Jeon, Byung Eun	男	ジェオン・ビュンウン	Elite male
11	Lee, Chang Yon	男	リー・チャンヨン	Elite male
12	Lee, Il Hyung	男	リー・イルヒュン	Elite male
13	Moon, Si Eun	男	ムン・シウン	Elite male
14	Lee, Hyun Ju	女	リー・ヒュンジュ	Elite female
15	Hwa Sun Young	女	ハ・スンヨン	Elite female
16	Kim, Dea Ik	男	キム・ディイク	Age Grouper
17	Oh, Il Hwan	男	オ・イルハン	Age Grouper
18	Lee, Kwang Soo	男	リー・クワンソー	Age Grouper
19	Kim, Jae Hwa	男	キム・ジャエハ	Age Grouper
20	Cho, Jung Hyun	男	チョー・ジュンヒュン	Age Grouper
21	Lim, Jung Su	男	リム・ジュンス	Age Grouper
22	Kim, Sang Taek	男	キム・サンテク	Age Grouper
23	Jung, Dae Hoi	男	ジュン・ダエホイ	Age Grouper
24	Jeon, Tae Sun	男	ジェオン・タエスン	Age Grouper
25	Yoo, Jin Hyeong	男	ヨ・ジンヒョン	Age Grouper
26	Cho, Byung Jik	男	チョ・ビュンジク	Age Grouper
27	Choi, Kyung Soo	男	チョイ・キュンス	Age Grouper
28	Kim, Byong Doo	男	キム・ビョンド	Age Grouper
29	Kim, Hong Kyu	男	キム・ホンキュ	Age Grouper
30	Kang, Hyun Mi	女	カン・ヒュンミ	Age Grouper
31	Kwon, Soo Mi	女	クオン・スミ	Age Grouper
32	Lee, Sung Hee	女	リー・スンヒ	Age Grouper
33	Gu, Sun Hee	女	グ・スンヒ	Age Grouper
34	Kim, Sung-Jin	男	キム・スンジン	Age Grouper
35	Ra, Mi Sook	女	ラ・ミスク	Age Grouper



トライアスロン 議員連盟が 七ヶ浜を視察

トライアスロン議員連盟

名誉顧問: 森 喜朗(石川)

顧問:

臼井日出男(千葉)、小杉 隆(東京)、斉藤斗志二(静岡)、河村建夫(山口)、石原伸晃(東京)、小野清子(秋田)

会長: 岩城光英(福島)

副会長:

河野太郎(神奈川)、後藤田正純(徳島)、秋葉賢也(宮城)、北神圭朗(京都)、鈴木政二(愛知)

幹事長: 橋本聖子(北海道)

幹事長代理: 中野正志(宮城)

幹事:

遠藤利明(山形)、下地幹郎(沖縄)、奥村展三(滋賀)、宮澤洋一(広島)、近藤基彦(新潟)、松島みどり(東京)、御法川信英(秋田)、関芳弘(兵庫)、越智隆雄(東京)、松野頼久(熊本)、篠田陽介(愛知)、岡部英明(茨城)、金田勝年(秋田)、三浦一水(熊本)、木村 仁(熊本)、岸宏一(山形)、中島啓雄(長野)、山下英利(滋賀)、西銘順志郎(沖縄)、伊達忠一(北海道)、松山政司(福岡)、小林温(神奈川)、野上浩太郎(富山)、椎名一保(千葉)、北川イツセイ(大阪)、中村博彦(徳島)、野村哲郎(鹿児島)、中川雅治(東京)、二之湯智(京都)、藤野公孝(広島)、山本順三(愛媛)、松下新平(宮崎)、岡田直樹(石川)、荻原健司(東京)、櫻田義孝(千葉)、杉田元司(愛知)、小泉顕雄(京都)

事務局長: 山内俊夫(香川)

事務局次長: 田島一成(滋賀)、末松信介(兵庫)

視察行程

《前泊》

1日目

日付	都市名	交通	時間	スケジュール	食事	備考
6/30(土)	東京-仙台	東北新幹線	17:00	東京駅より東北新幹線にて仙台へ		
	七ヶ浜町		18:00	【懇親会パーティー】 出席予定: 七ヶ浜町長、宮城協会長、 県議会議員、三宅副会長		
	仙台			ホテルにて宿泊		

2日目

日付	都市名	交通	時間	スケジュール	食事	備考
7/1(日)	七ヶ浜		8:00 8:15	開会式出席 エイジ スイムスタート		・宮城県中南部下水処理場の中を 通って会場入りしてください。 ・新日本石油駐車場からは 徒歩にてお願い致します。
			11:00	エリート男子 スイムスタート		
			12:10	エリート女子 スイムスタート		
			14:00	全競技終了予定		
			15:00~	表彰式・抽選発表会・閉会式		

《日帰り》

日付	都市名	交通	時間	スケジュール	食事	備考
7/1(日)	東京-仙台	東北新幹線		東京駅より東北新幹線にて仙台へ		
	七ヶ浜		8:00 8:15	開会式出席 エイジ スイムスタート		・宮城県中南部下水処理場の中を 通って会場入りしてください。 ・新日本石油駐車場からは 徒歩にてお願い致します。
			11:00	エリート男子 スイムスタート		
			12:10	エリート女子 スイムスタート		
			14:00	全競技終了予定		
			15:00~	表彰式・抽選発表会・閉会式		

ハワイ抽選会

『ハワイ往復航空券プレゼント』 7月1日(日) 14:30～

第13回みやぎ国際トライアスロン七ヶ浜大会に参加して、ホノルルトライアスロンへ行こう！

【企画概要】

参加選手を対象に"七夕の季節の贈り物"をご用意。

当大会には、北京オリンピックに向けたポイント獲得そしてNTTジャパンカップランキングイベントを目指して国内外の多数の選手が参加を表明しています。つきましては、迫力ある大会をさらに盛り上げるイベントとしまして、JAL提供によるハワイ往復航空券のプレゼントをお楽しみ頂けるようお願い申し上げます。

【プレゼント内容】

◎特賞：成田-ホノルル間の往復航空券(日本航空)

◎副賞：地元名産品、スポーツグッズ、他

【実施大会と日時】

「第13回みやぎ国際トライアスロン七ヶ浜大会 兼 日韓親善大会」

「2007 ITUトライアスロンコンチネンタルカップ」

「東北学生トライアスロン選手権大会」

2007年7月1日(日)午前8時から午後3時迄、大会イベント会場で受付。

午後3時～表彰式後にステージで抽選会、当選者発表。目録授与。

【応募と受賞資格】

表記いずれかの大会に参加した選手で、当日会場でアンケート用紙に回答した方々を対象とします。

また、受賞者は当日の抽選会発表時に直接商品を受け取れる方に限りです。

【応募方法】

前日の登録説明会場で配布されるアンケート用紙をご記入になり、大会当日にイベント会場の応募箱に投函して下さい。

【抽選方法と当選発表】

大会表彰式後に、投函箱からアンケート用紙を任意に抜き取る抽選方法とします。

その場で当選者名を発表し、該当者本人がいない場合は再抽選とさせていただきます。

【主催】第13回みやぎ国際トライアスロン七ヶ浜大会実行委員会

【協力】日本航空、(社)日本トライアスロン連合、宮城県トライアスロン協会、他

【お問い合わせ】みやぎ国際トライアスロン七ヶ浜大会事務局 (TEL)022-388-8431

選手受付 競技説明会

6月30日(土)

12:30~15:50 選手登録受付
16:00~16:30 競技説明会

6月30日(土) 12:30~15:55

選手登録受付



6月30日(土) 16:00~16:30

選手競技説明会(エリート)



エリート選手 記者会見

6月30日(土)

16:30~17:00 記者会見



中央公民館に集まった8選手。司会は宮本光広JTU事業広報副委員長、選手左から、平野司(NTT東日本・NTT西日本)、細田雄一(ウイダー)、田中敬子(NTT東日本・NTT西日本・スカイタワー58)、高木美里(湘南ベルマーレ)、ハルバーソン(オーストラリア)、ダニエル・リー(香港)、ムン・シウン(韓国)、リー・ヒョンジュ(韓国)。



高木美里(湘南ベルマーレ・中央)
現在、NTTジャパンカップ1位(蒲郡大会終了時点)



細田雄一(ウイダー)
現在、NTTジャパンカップ5位(蒲郡大会終了時点)



平野 司(NTT東日本・NTT西日本)
現在、NTTジャパンカップ6位(蒲郡大会終了時点)

2007 ITU Triathlon Continental Cup Shichigahama, Japan

海外の24選手を含め、64名がエントリー



NTTトライアスロンジャパンカップシリーズ第5戦 2007ITUコンチネンタルカップ七ヶ浜大会直前情報

6月30日 JTU公式リリース

日韓親善大会も兼ね、韓国から女子2名、男子4名参加

6月30日(土)、宮城県七ヶ浜町中央公民館で、翌日に開催される2007NTTトライアスロンジャパンカップ第5戦・ITUトライアスロンコンチネンタルカップ七ヶ浜大会の有力選手記者会見が行われた。出席したのは、女子が高木美里(湘南ベルマーレ)、田中敬子(NTT東日本・NTT西日本・スカイタワー58)、男子は細田雄一(ウイダー)と平野司(NTT東日本・NTT西日本)。さらに日韓親善大会のため、韓国の女子リー・ヒョンジュと男子ムン・シウン、加えて前週の蒲郡大会で2位となったガレス・ハルバーソン(オーストラリア)、昨年アジア競技大会で銀メダルを獲得したダニエル・リー(香港)の8名がそろった。まず、全員からコースの印象とレースへの抱負が語られたあと、韓国選手に韓国の強化方針について質問があり、ハルバーソン選手には蒲郡大会からの修正点、またダニエル・リー選手には最近の好成績の理由が聞かれた。明日のレースは、女子は好調高木に古谷あかね(トヨタ車体)と蒲郡大会で思わぬ落車で後退した大松沙央里(トヨタ車体)、田中、菊池日出子(チームテイケイ)、中島千恵(トーン・日東紅茶・TEAM KEN'S)らがどう挑むかが注目される。また男子は、細田、平野、山本淳一(K's-Y・グリーンタワー・稲毛インター)、



大会前日、七ヶ浜町中央公民館で記者会見が行われた



ガレス・ハルバーソン(オーストラリア) 前週に開催された蒲郡大会では2位



昨年末に開催されたアジア競技大会で銀メダルを獲得したダニエル・リー(香港)

西内洋行(西京味噌)にオーストラリアからの11選手がどう絡んでいくかに勝敗の行方はかかっている。この七ヶ浜大会は、前述のとおり日韓親善大会となっており、韓国から男女エリート6選手、エイジグループ20選手が参加している。明日7月1日(日)は、男子が午前11時ちょうど、女子が午後12時10分のスタート。また、午前8時15分には一般の選手が出場する第13回みやぎ国際トライアスロン七ヶ浜大会がスタートする。

前週の蒲郡大会で優勝、ジャパンカップランキング1位 高木美里(湘南ベルマーレ)

昨年はこのレースは出られなかった。一昨年とコースが変わり、アップダウンが少なくなった。私は、バイクのアップダウンがあったほうが有利なので少し残念だ。スイムの早い選手が多いので、遅れないようにしたい。スイムで出遅れないようにし、バイクで差を詰めていきたい。



高木美里(湘南ベルマーレ)

ジャパンカップランキング5位 細田雄一(ウイダー)

これまでのアップダウンの多いコースと違って、フラットなスピードコースになった。自分の好みは別として、選手たち個人個人でコースの好みは分かれるところだろう。自分としては、このスピードコースを楽しみたい。明日のレースの戦略は秘密。



細田雄一(ウイダー)

ジャパンカップランキング15位 田中敬子(NTT東日本・NTT西日本・スカイタワー58)

ランのアップダウンがなくなったので、スイム、バイクで頑張っ差をつけて、差のつきにくいランで頑張りたい。レース展開がどうなるかは分からないが、スイム、バイク、と自分の持てる力を出していきたい。とにかく明日は、自分の力を出し切るように頑張る。



田中敬子(NTT東日本・NTT西日本・スカイタワー58)

ジャパンカップランキング6位 平野司(NTT東日本・NTT西日本)

私自身はアップダウンが好きだが、コース変更はどの選手にも同じ条件だから、自分の力を出すことが重要だ。明日は、オーストラリアの選手たちとダニエル・リー選手はスイムが速いので、最初から一緒に飛ばして逃げたい。つかまったら、そのときに作戦を立て直す。



平野司(NTT東日本・NTT西日本)

会場風景①

2007ITUコンチネンタルカップ七ヶ浜大会
スタートエリア(スイム会場)風景



会場風景②

2007ITUコンチネンタルカップ七ヶ浜大会
フィニッシュエリア風景



会場風景③

2007ITUコンチネンタルカップ七ヶ浜大会 トランジションエリア



エリート



エイジ



トランジションエリア付近の風景

2007ITUコンチネンタルカップ七ヶ浜大会 表彰式会場



会場風景④

2007ITUコンチネンタルカップ七ヶ浜大会
JTUオフィシャルスポンサー・アドバナー



会場風景⑤

2007ITUコンチネンタルカップ七ヶ浜大会 JTUオフィシャルスポンサー・アドボード



記者会見会場



フィニッシュゲート付近①



フィニッシュゲート付近②



スイムゲート付近



フィニッシュゲート付近コース



表彰式会場

会場風景⑥

2007ITUコンチネンタルカップ七ヶ浜大会
オフィシャルドリンク、ミネラルウォーター



2007ITUコンチネンタルカップ七ヶ浜大会
オフィシャルスポンサー・のぼり



会場風景⑦

2007ITUコンチネンタルカップ七ヶ浜大会
プロモーションスペース



ツール

出場選手への配布物 他

2007ITUコンチネンタルカップ七ヶ浜大会
配布ツール



2007ITUコンチネンタルカップ七ヶ浜大会
表彰メダル



2007ITUコンチネンタルカップ七ヶ浜大会
公式プログラム



JTUオフィシャルスポンサー・プログラム広告



PR展開

- WEB
- リリース
- メールマガジン

2007ITUコンチネンタルカップ七ヶ浜大会 JTU WEB MAGAZINE での展開

<http://www.jtu.or.jp/>



2007ITUコンチネンタルカップ七ヶ浜大会 七ヶ浜大会ホームページ

<http://triathlon-7.main.jp/>



2007ITUコンチネンタルカップ七ヶ浜大会 WEBリリース掲載・メールマガジン 他



2007.06.27 JTU公式リリース



2007.06.30 JTU公式リリース
「大会直前情報」



2007.06.30 JTU公式リリース
「大会速報」



2007.06.30 JTU公式メールマガジン
「大会直前情報」



2007.07.01 JTU公式メールマガジン
「大会結果速報」

競技風景①

7月1日(日)
08:00~12:15

エイジレース模様-1

- 一般(個人)部門
- リレー部門
- 大学生選手権 他



競技風景③

7月1日(日)
11:00～ エリート男子-1

- ・スタート
- ・注目出場選手



2007ITUコンチネンタルカップ七ヶ浜大会 エリート男子・スタート



■ 10時45分 エリート男子・スタートエリア集合



■ 11時00分 エリート男子・スタート

2007ITUコンチネンタルカップ七ヶ浜大会 エリート男子・注目出場選手



■ 細田雄一(ウイダー)



■ ダニエル・リー(香港)



■ 山本淳一
(K's-Y・クリンタワー・稲毛インター)



■ 西内 洋行(西京味噌)



■ 平野 司
(NTT東日本-NTT西日本)



■ アダム・カルトン
(オーストラリア)



■ 佐藤 治伸(日本食研)



■ ガレス・ハルパーソン
(オーストラリア)



■ 杉本 宏樹(チームテイケイ)

競技風景④

7月1日(日)
11:00～ エリート男子-2

- ・トランジション
(スイム→バイク)
- ・バイク



■ スイムトップ通過 リー・チャンヨン(韓国)



■ スイム2位通過 プレット・マックオーン(AUS)



■ スイム3位通過 平野司(NTT東日本・NTT西日本)



■ スイム3位通過の平野の後少し遅れてスイムを終えたオーストラリア勢。この時点でトップとの差は8秒。



■ アンドリュー・ライト(香港・右)と昨年末アジア競技大会で銀メダルを獲得したダニエル・リー(香港・左傍)。



■ 途中トップ集団の構成人数が何度も変わる。写真は、前週の蒲郡大会で銀メダルを獲得したガレス・ハルバーソン(AUS)。



■ 最終的に25名の大集団に。
写真先頭は、バイク第2集団を走る杉本宏樹(チームテイケイ)。



■ バイクでは、エイドリアン・コミト(AUS)とジェイミー・ローズ(AUS)が、後続に1分18秒の差をつけた。写真は第2集団の山本淳一と細田雄一。



競技風景⑤

7月1日(日)
11:00～ エリート男子-3

- ・ラン
- ・フィニッシュ



■ バイクでは後続に1分18秒の差をつけ、ランで逃げ続ける
エイドリアン・コミット(オーストラリア)



■ 逃げ続けるコミットを追う、ダニエル・ハルバーソン(AUS)と
細田雄一(ウイダー)



■ ハルバーソンと細田を追うダニエル・リー(香港)とアダム・
カールトン(オーストラリア・左奥)



■ ラン最終周を走る、佐藤治伸(日本食研)
6位(日本人選手2位)でフィニッシュ。



■ ラン最終周でトップに立ち、そのまま逃げ切り見事優勝した細田雄一(ウイダー)。
2位のダニエル・ハルバーソン(AUS・左奥)は「細田の走りについていけなかった」とコメント。

競技風景⑥

7月1日(日)
12:10~ エリート女子-1

- ・スタート
- ・注目出場選手

2007ITUコンチネンタルカップ七ヶ浜大会 エリート女子・スタート



■ 12時10分 エリート女子・スタート



■ エリート女子は、海外選手5名、日本人選手15名の合計20名が出場した

2007ITUコンチネンタルカップ七ヶ浜大会 エリート女子・注目出場選手



■ 高木美里(湘南ベルマーレ)



■ 古谷あかね(トヨタ車体)



■ 大松沙央里(トヨタ車体)



■ 西内真紀(エヌ・エス・アイ)



■ 中島千恵
(トーン・日東紅茶・TeamKen's)



■ 菊池日出子(チームテイケイ)



■ 足立真梨子
(トーン・日東紅茶・TeamKen's)



■ 浅沼美鈴(愛知県協会)



■ 田中敬子
(NTT 東日本・NTT 西日本・スカイタワー-58)

競技風景⑦

7月1日(日)
12:10～ エリート女子-2

・トランジション
・バイク



■ スイムトップ通過 古谷あかね(トヨタ車体)



■ 2位通過 ケリーラング(イギリス)



■ 足立真梨子(右)、中島千恵(左)、浅沼美鈴(中央)が続いてスイムを通過。



■ 少し遅れて、佐藤優香が6位でスイムを通過



■ スイムを5位までに通過した5名の選手で先頭集団が形成された



■ バイク先頭集団。左より足立真梨子、古谷あかね、中島千恵



■ バイク第2集団、大松沙央里(トヨタ車体・左)、先週蒲郡で優勝した高木美里(湘南ベルマーレ・右)



■ バイク第2集団。藤本葵(東京ヴェルディ・左)、田中敬子(NTT東日本・NTT西日本・スカイタワー58、右)。



■ バイク先頭集団5名がトランジションへ。第2集団との差は1分10秒。

競技風景⑧

7月1日(日)
12:10～ エリート女子-3

- ・ラン
- ・フィニッシュ



■ ランへ最初に出たラング(イギリス)と後をピッタリとマークする古谷あかね(トヨタ車体・右後ろ)



■ 前を走るラングと古谷を追い、フェリシティー・シーディ(オーストラリア)、バイク終了時点は14位だった



■ 4周回目でラングを引き離し、ジャパンカップ初優勝を果たした古谷あかね(トヨタ車体) 2時間5分25秒



■ セヶ浜のレースを得意とする大松沙央里(トヨタ車体)。フェリシティー・シーディ(オーストラリア)を追い



■ 前週蒲郡の覇者、高木美里(湘南ベルマーレ)は、10位で終わった。



■ 2位ケリー・ラング(イギリス) 2時間5分56秒



■ 3位フェリシティー・シーディ(オーストラリア) 2時間6分21秒

表彰式

7月1日(日)

14:30~



■ 左から、ガレス・ハルバーソン(オーストラリア)、ケリー・ラング(イギリス)、細田雄一(ウイダー)、古谷あかね(トヨタ車体)、フェリシティー・シーディ(オーストラリア)、ダニエル・リー(香港)



■ 女子優勝 古谷あかね(トヨタ車体)



■ 男子優勝 細田雄一(ウイダー)



2007 ITU Triathlon Continental Cup Shichigahama Japan

女子は古谷あかね、 男子は細田雄一が優勝！

2007ITUコンチネンタルカップ七ヶ浜大会

海外の24選手を含め、64名がエントリーした七ヶ浜大会で、男女ともに日本人選手が優勝！

**スイムトップは
リー・チャンヨン(韓国)**

午前11時ちょうどにスタートした男子は、韓国のリー・チャンヨンがスイムをトップで上がると、ブレント・マックウオーン(オーストラリア)、平野司(NTT東日本・NTT西日本)が続く。そのあと少し遅れて、ガレス・ハルバーソンらのオーストラリア勢と杉本宏



11時ちょうどにスタートした男子
水温は22度

宮

城県七ヶ浜町の特設コースで、2007NTTトライアスロンジャパンカップ第5戦・2007ITUトライアスロンコンチネンタルカップ七ヶ浜大会が開催された。前日までの小雨模様とは打って変わった晴天となり、水温は22度でウエットスーツ着用禁止。

最終周で細田トップ

ランでは、コミノトが逃げ続けたが、3周目から細田雄一(ワイダー)とハルバーソンが猛追。最終周で細田がトップに立つとハルバーソンを寄せ付けず、蒲郡4位の雪辱となる優勝を果たした。細田は、「蒲郡で落車して練習ができなかったが、トップに立つたとき、ここで負けるわけにはいかない」と思って頑張った」とコメント。2位はハルバーソン、3位はダニエル・リーが入った。ハルバーソンは前週に続く2位。この結果は、決して悪いものではない。細田の走りについては「いけなかった」と、あっさり脱帽した格好となった。



最終周でトップに立った
細田雄一(ワイダー)

樹(チームテイケイ)、ダニエル・リー(香港)が後を追う。バイクでは、トップ集団の構成人数が何度かわ変わったが、結局オーストラリアのエイドリアン・コミノトとジェイミー・ローズが逃げ、後続に1分18秒差を付けた。その後、25名の集団がランに移った。



細田雄一(左)と山本淳一(右)
先頭を走るオーストラリアのエイドリアン・コミノトとジェイミー・ローズを追う

12時10分、女子スタート

午後12時10分にスタートした女子は、スイムを古谷あかね(トヨタ車体)、ケリー・ラング(イギリス)、足立真梨子(トーン・日東紅茶・TEAM KEN'S)、中島千恵(トーン・日東紅茶・TEAM KEN'S)、浅沼美鈴(愛知県協会)の順でフィニッシュ。



先週の蒲郡では、高木美里(左)が優勝、田中敬子(中央)が3位だった

体)らが入っていた。第1集団と第2集団は、2周回を終わるころには差は2分に開いたが、その後差が縮まり、ランへのトランジションに選手たちが飛び込んだときには、1分10秒になっていた。



4周目の手前で古谷あかねがラングを引き離れた

ランに最初に出たのはラング。すかさず古谷が後を追うと、二人のマッチレースとなった。後ろから、フェリシテイ・シーディ(オーストラリア)、大松、菊池日出子(チームテイケイ)が追い上げるなか、4周目に入る手前で古谷がリード。そのままラングとの差を維持して、古谷がジャパンカップ初優勝を果たした。古谷は、「ここに出ないと表彰台すら危ないと思った。勝つためには先に仕掛けるしかなかった」とレースを振り返った。2位はラング、3位はシーディ。ラングは、「来日したばかりでよく眠れなかった。スコットランドに住んでいるので、今日は暑かった」とコメントした。なお、4位には粘り強く追った大松が入った。このレースの模様はフォトギャラリーでご覧になれます。
<http://www.jtu.or.jp/>

古谷 あかね (トヨタ車体)

ランのフォームを改良しているところ。前にラングが走っていてくれたので、風よけにもなったしペースもくれた。勝つことを考えて後ろについた。最終周の前にラングが苦しそうだったので、ここでいじかないと思った。先週に続いて、トヨタ車体で2連勝となり嬉しい。



細田 雄一 (ウイダー)

先週の蒲郡で落車して、バイクが壊れ、1週間満足に練習ができなかった。ピンチのときにチャンスがあると思い、どうやったら勝てるか考えていた。バイクでの1分以上の差をラン序盤で縮められなかったのも、思い切りランにかけた。ぎりぎりの勝利だった。



スイム先頭集団、そのままバイクで逃げ切る

バイクでは、2週回目から前述の5名がバイクで先頭集団を形成した。続く第2集団の10名は、前週の覇者高木美里(湘南ベルマーレ)、前週3位の田中敬子(NTT東日本・NTT西日本・スカイタワー58)、七ヶ浜を得意とする大松沙央里(トヨタ車



優勝した細田雄一(左)と古谷あかね(右)表彰台で記念撮影



エリート男子・スタート前
七ヶ浜の少年野球チームが大会を盛り上げてくれた

大会データ

出場選手数： **総出場選手数 273名**

エリート男子 43名／エリート女子 24名
エイジ男子 110名／エイジ女子 14名
学生男子 71名／学生女子 11名
リレー部門 9チーム

→ エリート部門合計 :67名
→ エイジ部門合計 :124名
→ 学生部門合計 :82名

観戦客数： **30,000名**

※大会メイン会場および沿道含む

天候： **晴** 気温27.0℃、風速1.7m/sec南東、水温22.0℃(11時現在)

新聞掲載： **毎日新聞、産経新聞、日刊スポーツ、中日スポーツ、河北新報 他**



公式記録

エリート男子

2007ITUトライアスロンコンチネンタルカップ七ヶ浜大会

エリート男子・公式記録

順位	No.	氏名	所属/登録	年齢	総合記録	スイム	順位	バイク	順位	スプリット	通過	ラン	順位	タイム差
1	1	細田雄一	ウイダー	22	1:53:46	0:20:29	16	1:00:13	19	1:20:42	14	0:33:04	1	—
2	8	ガレス・ハルバーソン	オーストラリア	20	1:53:49	0:20:21	4	1:00:14	20	1:20:35	4	0:33:14	2	0:00:03
3	2	ダニエル・リー	香港	30	1:54:00	0:20:28	14	1:00:13	18	1:20:41	10	0:33:19	3	0:00:14
4	5	アダム・カールトン	オーストラリア	19	1:54:01	0:20:26	11	1:00:08	15	1:20:34	3	0:33:27	4	0:00:15
5	19	エイドリアン・コミノ	オーストラリア	19	1:54:09	0:20:28	13	0:58:48	1	1:19:16	1	0:34:53	9	0:00:23
6	6	佐藤治伸	日本食研	28	1:54:15	0:20:55	25	0:59:43	3	1:20:38	6	0:33:37	5	0:00:29
7	11	高濱邦晃	日本食研	28	1:54:50	0:20:42	20	1:00:05	13	1:20:47	22	0:34:03	6	0:01:04
8	10	杉本宏樹	チームテイケイ	25	1:55:00	0:20:23	7	1:00:20	25	1:20:43	17	0:34:17	7	0:01:14
9	3	山本淳一	K's-Y・グリーンタワー・稲毛インター	33	1:55:25	0:20:29	17	1:00:11	16	1:20:40	8	0:34:45	8	0:01:39
10	9	アンドリュー・ライト	香港	23	1:55:37	0:20:24	8	1:00:16	22	1:20:40	9	0:34:57	10	0:01:51
11	4	西内洋行	西京味噌	31	1:56:10	0:20:27	12	1:00:12	17	1:20:39	7	0:35:31	14	0:02:24
12	18	比嘉和真	沖縄県連合	20	1:56:28	0:20:58	27	0:59:43	4	1:20:41	12	0:35:47	16	0:02:42
13	15	吉越慎吾	三好スイミングアカデミー	27	1:56:33	0:20:30	18	1:00:06	14	1:20:36	5	0:35:57	18	0:02:47
14	17	ナザン・キャンベル	オーストラリア	23	1:56:34	0:20:53	23	0:59:49	8	1:20:42	15	0:35:52	17	0:02:48
15	14	デビット・マッシュューズ	オーストラリア	20	1:56:47	0:20:25	9	1:00:16	23	1:20:41	11	0:36:06	20	0:03:01
16	22	ダン・ロビンソン	オーストラリア	22	1:57:00	0:20:22	6	1:01:32	28	1:21:54	28	0:35:06	11	0:03:14
17	24	ムン・シウン	韓国	23	1:57:04	0:20:57	26	0:59:48	7	1:20:45	20	0:36:19	21	0:03:18
18	38	外山高広	東京都連合	23	1:57:25	0:20:58	28	0:59:47	5	1:20:45	21	0:36:40	24	0:03:39
19	34	ジェレミー・ドレイク	オーストラリア	20	1:57:36	0:21:00	29	0:59:52	10	1:20:52	26	0:36:44	25	0:03:50
20	37	井上一輝	東京都連合	24	1:58:02	0:20:49	21	0:59:54	11	1:20:43	18	0:37:19	27	0:04:16
21	28	小原工	チームテイケイ	40	1:58:28	0:20:54	24	0:59:48	6	1:20:42	16	0:37:46	28	0:04:42
22	36	リー・チャンヨン	韓国	20	1:58:39	0:19:53	1	1:00:56	27	1:20:49	24	0:37:50	29	0:04:53
23	43	原田雄紀	東京ヴェルディ	20	1:58:52	0:21:00	30	0:59:49	9	1:20:49	25	0:38:03	30	0:05:06
24	32	岩井信二	愛媛県協会	25	1:59:00	0:20:52	22	1:00:02	12	1:20:54	27	0:38:06	31	0:05:14
25	35	平松幸紘	大阪府協会	23	1:59:02	0:21:51	36	1:02:03	30	1:23:54	29	0:35:08	12	0:05:16
26	25	ジェオン・ビュンウン	韓国	21	1:59:23	0:21:45	33	1:02:13	33	1:23:58	33	0:35:25	13	0:05:37
27	42	サム・ベトン	オーストラリア	19	1:59:27	0:20:29	15	1:00:14	21	1:20:43	19	0:38:44	33	0:05:41
28	40	原智哉	学連/明治大学	22	1:59:27	0:21:51	35	1:02:03	31	1:23:54	30	0:35:33	15	0:05:41
29	16	ブレット・マックオーン	オーストラリア	21	1:59:48	0:19:54	2	1:00:54	26	1:20:48	23	0:39:00	34	0:06:02
30	23	三木邦彦	兵庫県協会	26	1:59:56	0:21:07	31	1:02:48	37	1:23:55	31	0:36:01	19	0:06:10
31	21	長谷川裕一	東京ヴェルディ	22	2:00:55	0:20:25	10	1:00:16	24	1:20:41	13	0:40:14	37	0:07:09
32	31	小野友行	神奈川県連合	21	2:01:09	0:20:35	19	1:03:25	38	1:24:00	36	0:37:09	26	0:07:23
33	33	リー・イルビュン	韓国	32	2:02:21	0:23:22	40	1:02:27	34	1:25:49	37	0:36:32	23	0:08:35
34	41	ジミー・アーチャー	アメリカ	34	2:02:24	0:23:23	41	1:02:31	36	1:25:54	39	0:36:30	22	0:08:38
35	29	岩田 聡	セントラルスポーツ	27	2:02:32	0:21:31	32	1:02:28	35	1:23:59	35	0:38:33	32	0:08:46
36	20	ジェイミー・ローズ	オーストラリア	22	2:02:47	0:20:22	5	0:58:54	2	1:19:16	2	0:43:31	40	0:09:01
37	30	平松弘道	神奈川県連合	26	2:03:30	0:21:47	34	1:02:11	32	1:23:58	34	0:39:32	35	0:09:44
38	39	長谷川 健	山形県協会	25	2:05:39	0:22:25	39	1:03:28	39	1:25:53	38	0:39:46	36	0:11:53
39	26	犬童太一	東京ヴェルディ	24	2:06:47	0:22:05	37	1:01:52	29	1:23:57	32	0:42:50	38	0:13:01
40	44	広富真也	大阪府協会	28	2:17:27	0:23:44	42	1:10:15	40	1:33:59	41	0:43:28	39	0:23:41
DNF	7	平野司	NTT東日本・NTT西日本	24		0:19:55	3	1:11:47	41	1:31:42	40			
DNF	12	桑原寛次	チームゴーヤー	27										
DNF	27	ブレント・シュスター	オーストラリア	19		0:22:06	38							

公式記録

エリート女子

2007ITUトライアスロンコンチネンタルカップ七ヶ浜大会

エリート女子・公式記録

順位	No.	氏名	所属／登録	年齢	総合記録	スイム	順位	バイク	順位	スプリット	通過	ラン	順位	タイム差
1	2	古谷あかね	トヨタ車体	25	2:05:25	0:20:38	1	1:06:05	9	1:26:43	4	0:38:42	2	—
2	12	ケリー・ラング	イギリス	31	2:05:56	0:20:40	2	1:06:02	7	1:26:42	3	0:39:14	3	0:00:31
3	16	フェリシティー・シーディ	オーストラリア	22	2:06:21	0:22:40	15	1:05:22	4	1:28:02	14	0:38:19	1	0:00:56
4	3	大松沙央里	トヨタ車体	25	2:07:38	0:22:39	13	1:05:22	3	1:28:01	11	0:39:37	4	0:02:13
5	6	菊池日出子	チームテイケイ	20	2:08:02	0:22:39	14	1:05:21	2	1:28:00	8	0:40:02	5	0:02:37
6	7	浅沼美鈴	愛知県協会	26	2:08:23	0:20:43	5	1:06:06	10	1:26:49	5	0:41:34	7	0:02:58
7	14	蔵本葵	東京ヴェルディ	18	2:09:22	0:22:28	12	1:05:32	5	1:28:00	10	0:41:22	6	0:03:57
8	4	西内真紀	エヌ・エス・アイ	32	2:09:33	0:21:36	9	1:06:18	11	1:27:54	6	0:41:39	8	0:04:08
9	10	太田麻衣子	千葉県連合	22	2:09:49	0:21:34	7	1:06:28	15	1:28:02	13	0:41:47	9	0:04:24
10	1	高木美里	湘南ベルマーレ	28	2:10:26	0:22:42	16	1:05:20	1	1:28:02	12	0:42:24	10	0:05:01
11	8	足立真梨子	トーシン日東紅茶	23	2:10:45	0:20:40	3	1:05:59	6	1:26:39	1	0:44:06	14	0:05:20
12	11	西麻依子	埼玉県連合TeamKen's	22	2:11:05	0:21:40	10	1:06:20	12	1:28:00	9	0:43:05	11	0:05:40
13	15	リー・ヒュンジュ	韓国	18	2:11:24	0:21:47	11	1:06:24	14	1:28:11	15	0:43:13	12	0:05:59
14	5	中島千恵	トーシン・日東紅茶・TeamKen's	23	2:13:56	0:20:40	4	1:06:02	8	1:26:42	2	0:47:14	18	0:08:31
15	9	田中敬子	NTT東日本・NTT西日本・スカイタワー58	22	2:14:42	0:21:36	8	1:06:21	13	1:27:57	7	0:46:45	17	0:09:17
16	20	佐藤優香	日本橋女子学館高等学校／ TEANKEN'Sジュニア	15	2:22:24	0:21:15	6	1:17:01	17	1:38:16	17	0:44:08	15	0:16:59
17	18	八代純子	神奈川県連合	26	2:24:11	0:22:51	17	1:14:55	16	1:37:46	16	0:46:25	16	0:18:46
18	13	ハ・スンヨン	韓国	19	2:24:48	0:22:59	18	1:18:00	18	1:40:59	18	0:43:49	13	0:19:23
DNS	17	キャサリン・ベイカー	オーストラリア	20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
DNS	19	楠里紗	東京都連合	22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—





本大会を支えていただいた、たくさんのボランティアとスポンサー、
そしてトライアスロンファンの皆さまのご協力に、
心から感謝いたします。

2007年7月1日
社団法人日本トライアスロン連合
www.jtu.or.jp